



# 全国一般評議会

# 闘争情報

No.190

2010. 3. 12

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0441

FAX03-5210-7422-5

## 第7回青年女性交流会開催

### たくさんの仲間がいることを知り元気をもらいました



2010年3月6日～7日にかけて石川県金沢市内において、全国一般第7回青年女性交流会を開催し、全国から約80名の参加者が集まった。

交流会は、評議会の三木副議長の主催者挨拶に始まり、石川地方労組の大谷青年部長は「自分たちの身を守るには自らが行動を起こすこと、仲間がいれば闘えることを中央自校の仲間の闘争で学ん



だ。働き方の多様化の名の下に雇用不安が広がる中、法も労働者を保護できていない。私たち一人ひとりが仲間とともに声をあげ【挨拶感動しました！大谷青年部長】続け連帯することは大きな力となる」と挨拶し、今後を担う世代の仲間と交流の大切さを訴えた。続いて石川地方労組の荒木委員長、自治労石川県本部・高委員長よりそれぞれ歓迎と激励の挨拶があった。

#### 【横の連帯を大事に。共に闘おう】

第一部は、毎日新聞・社会部の東海林智記者より「貧困の現場からみた非正規労働者の実態と労働組合の課題」をテーマに記念講演をいただいた。現場を取材してきた経験から、労働力が買い叩かれてきた経過、貧困から抜け出せない労働者の実態を詳細に語った。個人の能力の問題ではなく、政治の流れ・国の政策の下、労働者に強いられてきたと言える背景とともに、労働組合の役割、力が重要であることなど事例をあげて講演いただいた。



#### 【話をしよう。仲間作りからすすめよう】

第二部では、3グループに分かれ意見交換を行った。この分散会では参加者一人ひとりが、講演を受けた感想、疑問・質問や自身の職場での出来事などそれぞれが発言し、意見交換の場となった。分散会毎に出された意見は二日目に全体で発表

した。意見の中には、貧困のテーマには興味はあっても現実味を感じない。職場の組合の中でも法や権利を知らなさすぎる。もっと勉強会が必要。若い世代が組合についてこない。非正規問題は、他人事ではなく自分の職場でも何かできることがあるのではないかと。組合の行事に集まってもらうための工夫が参考になった。などたくさんの意見が出され、互いにアドバイスするなど有意義な意見交換の場となった。

引き続きの参加地方労組の活動報告においては、各職場における青年部の組織化の取り組み報告、青年部の準備会を立ち上げた報告、支部青年部の取り組み報告、自治労ユース部への参加報告と、今まさに工場閉鎖の攻撃を受けている石川地方労組・門前サンケン支部の仲間からは経過説明の後、「たくさんの仲間に支えられている。白紙撤回を求めて闘う」と決意表明。栃木の普恵園支部長解雇撤回闘争については、支部長である石川さんより上告を求める署名の協力に対するお礼と、上告に至るまでの経過を報告し、仲間がいることに改めて感謝するとともに、不安もあるが皆に支えられ、諦めないで闘うと強い決意を述べた。

#### 【寄せ書きを交換しました】



懇親会では各地方労組毎に自己紹介の場もあり、参加者同士が打ち解ける場となった。今交流会で初めての取り組みとなった「檄布交換」では、各地方労組ごとに、それぞれ組合員が寄せ書きした檄布（春闘勝利）を持ち寄り代表者同士で交換。交流会に参加できなかった組合員からのメッセージもたくさんあった。

二日目の最後には、参加地方労組がテーマ別に持ち寄ったスローガンを、全員でシュプレヒコール。会場となった、研修会場前で集合写真を撮り全行程を終えた。

#### 【本当は見晴らしのいい場所です】



【2日間雨でした・・・】